

小豆島ふるさと村キャンプ場可動型拠点ユニット整備事業
設計・施工業務評価基準書

総合評価は 100 点満点（技術点：80 点、価格点：20 点）の「価格・技術総合評価方式」を想定しています。

なお、本書において使用する用語の定義は、本書において規定するほか、小豆島ふると村キャンプ場可動型拠点ユニット整備事業設計・施工業務募集要項において定められた用語の定義とする。

1. 参加資格・形式審査

技術提案の採点を行う前に、以下の事務的要件を満たしているか確認する。

- ・提出書類の不足、様式違い、重大な虚偽記載がないこと。
- ・参加者が、過去 10 年以内に同種、類似工事の元請実績を有していること。
- ・提案価格が「提案上限価格」以下であること。

2. 技術評価項目・配点（計 80 点）

(1) 業務実施体制、実績（20 点）

- ・企業の施工実績、能力

宿泊施設といった同種又は類似の工事（木造・鉄骨造の建築一式工事等）の施工実績、又は新造コンテナ等の製造・納品実績（延床面積 40 m²以上）において、本事業を確実、円滑に遂行できる優良な実績を有しているか。

- ・配置技術者の専門性、資格

設計、施工の各業務に配置される技術者が、必要な資格を有し、十分な実務経験や同種の実績を有しているか。

- ・事業推進、工程管理体制

令和 9 年 3 月 21 日までの履行期間に対し、工場製作、輸送、現地施工の連携が緻密に計画され、確実かつ円滑に業務を遂行できる体制が整っているか。

(2) 設計・配置計画（30 点）

- ・可動型ユニットのデザインと機能性

キャンプ場全体の魅力を高める「観光魅力の向上」「多様な宿泊・滞在ニーズ」に合致した、高い意匠性と快適性（平面・立面・設備計画）を備えているか。

- ・島しょ部特有の環境への適応性

沿岸部特有の「塩害（潮風）」対策、台風等の「耐風圧・耐震性」、高湿度対策など、耐久性とメンテナンス性を考慮した構造・材料計画がなされているか。

- ・既存インフラを活かした配置、外構設計

既存のキャンプ区画や給排水、電気引込ルートを効率的に活用しつつ、利用者のプライバシーや安全なアプローチ動線が確保されているか。

(3) 施工・運搬計画（20 点）

- ・島内への輸送・搬入路計画の確実性

ユニットの工場製作からフェリー等による海上輸送、及び島内道路を通じた現地への搬入、設置ルート、揚重計画が具体的かつ現実的か。

- ・現地施工の迅速性と安全性

営業中のエリアや利用者へ配慮し、現地での工事期間を最小限に抑える工夫（プレハブ化・ユニット化の最大活用）や、安全対策が適切に計画されているか。

- ・工期短縮への取り組み

履行期間の短縮に向けた具体的な工夫や、確実な引渡しを担保する柔軟な工程マネジメントが提案されているか。

(4) 地域貢献・災害時活用及び持続可能な運営・集客提案（10 点）

- ・災害時の機動的な活用可能性

災害発生時に町の一時避難所、救護拠点、対策本部等へ迅速に転用・活用できる機能や、運用ソフト面のスキームが具体的に提案されているか。

- ・集客、運営、プロモーションへの協力・提案

閑散期（冬期等）の利用率向上に向けた提案や、事業者のネットワークを活かした情報発信、連携施策など、整備後の持続可能な施設運営に寄与する提案がなされているか。

3. 価格評価（計 20 点）

価格提案については、以下の算定式等により客観的に点数を算出する。

価格点＝最低提案価格／提案価格×20 点

4. 評価ランク及び採点基準

各審査委員は、技術評価項目の各着眼点について、以下の 5 段階で評価し、配点に応じた点数を付与する。

なお、計算数値の端数については、小数点以下 3 位を四捨五入する。

A	要求水準に対して、より優れた提案である。	配点×100%
B	要求水準に対して、優れた提案である。	配点× 80%
C	要求水準に対して、標準的な提案である。	配点× 60%
D	要求水準に対して、やや下回る提案である。	配点× 40%
E	要求水準に対して、下回る提案である。	配点× 20%